

株主のみなさまへ

目次

	ページ
株主のみなさまへ	1
経営方針	3
事業の概況	7
財務諸表 その他	9
かんでんNOW	13
インフォメーション	15

株主のみなさまには、常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

平成25年度のわが国経済を見ますと、政府の経済対策の効果などにより、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方、当社グループにおきましては、原子力プラントが再稼動できなかったことから、電力の需給は厳しく、事業の収支も極めて厳しい状況となりました。

電力の需給につきましては、お客さまから節電・省エネルギーへのご協力をいただいたことに加え、さまざまな供給力対策を講じたことにより、電力の安全・安定供給を全うすることができました。

連結収支の状況につきましては、経営効率化により徹底した諸経費の節減に努めましたが、電気事業において、燃料価格の上昇や原子力発電所の稼働率低下などにより、火力燃料費が増加したことなどから、経常損失は1,113億円、当期純損失は974億円となりました。

このように、収支状況は極めて厳しく、また、先行きについても、経営環境は依然として不透明であることなどから、誠に申し訳ございませんが、当年度の配当は無配とさせていただきます。株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度は、原子力プラントの再稼動時期が依然として見通せず、電力の需給、事業の収支ともに極めて厳しい状況が続いておりますことから、この難局を乗り越え、電力の小売全面自由化をはじめ近い将来

において予想される経営環境の激変に備えていくため、「変わらぬ使命のためのベースアクション」と「変わり続けるための変革アクション」の観点からアクションプランを展開してまいります。

「変わらぬ使命のためのベースアクション」につきましては、グループワイドでのゆるぎない安全文化の構築のため安全に対する理念や行動規範の浸透に向けた活動の展開と原子力安全の一層の推進に取り組むとともに、電力需給の安定化のために総力を結集し、原子力プラントの早期再稼動に向けた真摯な対応を積み重ねていくことはもとより、自社電源の最大限の活用や他社融通等による供給予備力の確保に努めてまいります。また、CSRを基軸にした経営を実践し、コンプライアンスの徹底やCSR啓発活動等にグループ一体となって取り組んでまいります。

「変わり続けるための変革アクション」につきましては、競争力ある企業グループに変革するため、火力電源の入札等による電源競争力の強化などに加え、情報通信事業等におけるグループ事業収益の拡大や、新たな成長を支える事業基盤の充実・強化に取り組んでまいります。

また、徹底した経営効率化とコスト構造改革を推進するため、設備の形成、運用・保全の高度化や、業務プロセス改革、物流・調達改革などに取り組んでまいります。

さらに、お客さまや社会のみなさまのご期待にお応えするための取組みとして、お客さまサービス業務の高度化や社会のみなさまとのコミュニケーションの一層の

充実に加え、省エネルギー・ピーク電力抑制に資するエネルギー・マネジメント活動や再生可能エネルギーの普及・拡大を推進し、お客さまや社会のエネルギー利用高度化に貢献してまいります。

当社グループは、これらをはじめとする諸施策を講じることにより、「お客さまと社会のお役に立つ」という使命を果たすとともに、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



取締役会長 森 詳介



取締役社長 八木 誠